

【Release】

2018 年 11 月 20 日
公益社団法人日本アドバタイザーズ協会
Web 広告研究会

第 6 回 Web グランプリ Web 人部門 受賞者発表 『Web 人大賞』は JapanTaxi の金 高恩氏が受賞

401 社が加盟（2018 年 10 月末現在）する公益社団法人日本アドバタイザーズ協会 Web 広告研究会（所在地：東京都中央区銀座 代表幹事：田中 滋子）は、11 月 20 日（火）、第 6 回 Web グランプリ（<https://award.wab.ne.jp/>）の「Web 人部門」、Web 人大賞以下各賞の受賞者を審査の上、決定いたしました。贈賞式は来る 12 月 6 日（木）、八芳園（東京都港区白金台）にて、「第 6 回 Web グランプリ贈賞式」として開催いたします。

「Web 人大賞」は、有識者で構成される Web 人賞選考委員会による審査会、及び Web 広告研究会幹事会で審議の結果、JapanTaxi の金高恩氏が受賞いたしました。この他、「Web 人 of the year」には映画監督の上田慎一郎氏、「Web 人特別賞」の 4 名は Integral Ad Science Japan の藤中太郎氏、so.la の辻正浩氏、日本アフィリエイト協議会の笠井北斗氏、Momentum の高頭博志氏に決まりました。また「Web 人賞」に KADOKAWA の松田紀子氏、Bytedance の西田真樹氏、ピースオブケイクの深津貴之氏、ライオンの小和田みどり氏が受賞されました。（次ページに詳細）

Web 人部門は、「人」にフォーカスした賞として、優れた Web サイト、Web プロモーションにとどまらず、広くデジタルマーケティングの原動力となった人物にフォーカスをあて、その功績を讃えて表彰しており、前身となる「Web クリエーション・アワード」から数えて今年で第 16 回目をむかえます。

昨年までの受賞者はこちらからご覧いただけます。

<https://award.wab.ne.jp/winner/gp05w>

【第 6 回 Web グランプリ贈賞式開催概要】

- 日時 2018 年 12 月 6 日（木）（贈賞式）15：30-17：00
（贈賞パーティ）17：00-19：00

- 場所：白金台八芳園 〒108-8631 東京都港区白金台 1-1-1

<http://www.happo-en.com/access/index.html>

- 参加申込は下記よりご覧ください（贈賞式参加は無料）

https://www.wab.ne.jp/wab_sites/general-event/view/2892

◇この件に関するお問合せ

公益社団法人 日本アドバタイザーズ協会 Web 広告研究会

Web グランプリ事務局 受付時間：10:00～17:00＜平日のみ＞

TEL:03-3543-5855 e-mail:award-info@wab.ne.jp

お問合せフォーム <https://award.wab.ne.jp/inquiries>

【Release】

第6回 Web グランプリ Web 人部門 受賞者一覧

【Web 人大賞】

金 高恩（キム ゴオン）氏
（JapanTaxi 株式会社）

JapanTaxi において CMO に着任。UX の改善により配車アプリの活用を大幅に促進するとともに、新しい決済機能を導入することにより、消費者の利便性および乗務員の利便性も追求。デジタルを駆使した新しい取引の形を創り出しました。また、タクシー内動画広告という新しい市場を創出するなど、自社のみならずタクシー業界全体のデジタルシフトを支援する一役を担ったことが高く評価され、今回の受賞に至りました。



【Web 人 of the year】

上田 慎一郎（ウエダ シンイチロウ）氏

いまや 2018 年を代表するクチコミ現象にもなった映画「カメラを止めるな！」の映画監督として、クチコミを意識したプロモーション活動に取り組まれてきました。制作費 300 万円、6 月の公開時には都内 2 館のみでの上映だった「カメラを止めるな！」が短期間に熱狂的に広まったのは、映画の面白さはもちろんのこと、監督が「宣伝もエンターテインメント」と捉えて、様々な試行錯誤や努力をされた成果とも言えます。

監督を中心とした関係者のほぼ全員が Twitter アカウントを開設し、劇場公開前のカウントダウンや、映画を観た人の感想へのコメントやいいねをされるなど、SNS を積極的に活用。さらには映画館で毎日舞台挨拶を実施し、観客に写真や動画撮影、SNS への投稿を促すなど、SNS 上でのクチコミを文字通り「感染」や「ポンデミック」と呼ぶべき現象にまで拡げることになったことが高く評価され、今回の受賞となりました。

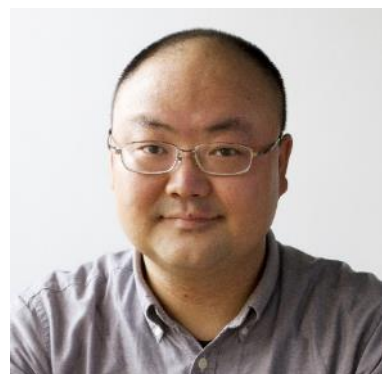


【Release】

【Web 人 特別賞】

辻 正浩（ツジ マサヒロ）氏
（株式会社 so.la）

辻氏は、検索エンジン最適化（SEO）のプロフェッショナルとして、長年、技術的な貢献を続けてこられました。年々高まる検索サービスの社会性・公共性に対し、不正を見過さず、さまざまな問題提起や提言を行い、ときには身を挺した活動によって、業界の健全化へ大きな貢献をされてきたことが高く評価され、今回の受賞となりました。



藤中 太郎（フジナカ タロウ）氏
（Integral Ad Science Japan 株式会社）
高頭 博志（タカトウ ヒロシ）氏
（Momentum 株式会社）

アド Fraud 対策などを中心に、国内のデジタル広告に関する信頼性を向上させ、かつ、広告主が自社の出稿により見えないリスクが発生するおそれを減らすための活動を積極的に進めてきました。さまざまな広告配信サービスと広告透明性・広告健全性のためのサービスを連携させていくことで、日本国内の広告サービスでも海外サービスに遅れをとらない状況を確認し、また、デジタル広告出稿が広告主にもたらす見えづらいリスクに関する情報を積極的に日本語で提供してきました。そうした広告業界の健全化に向けた動き、ひいては日本の広告主が安心してデジタル広告を活用していくことを助けたことが高く評価され、今回の受賞となりました。



笠井 北斗（カサイ ホクト）氏
（日本アフィリエイト協議会）

日本アフィリエイト協議会の代表理事を務め、アフィリエイトサイト運営者だけでなく、広告主、広告代理店、官公庁など、業界への啓発活動を通して、生活者利益の保護にも配慮したアフィリエイト・ビジネスの健全な発展と成長に、長年にわたり尽力されてきたことが高く評価され、今回の受賞となりました。



【Release】

【Web 人賞】

松田 紀子（マツダ ノリコ）氏
（株式会社 KADOKAWA）

創刊 30 周年をこえる老舗雑誌である「レタスクラブ」の編集長に 2016 年 6 月に就任、月刊化を含めた大きなリニューアルに取り組みられました。特に、紙の雑誌とネットや SNS の連動において先駆的な取り組みに挑戦。リアル読者のコミュニティとして「レタス隊」を組織し、LINE やミーティングなどで意見を聴いたり、Twitter でのエゴサーチにも注力。さらには、編集メンバーに Twitter アカウントによる積極的な発信を促すことで、紙の誌面と SNS を組み合わせたファンとの新しいコミュニティの形に挑戦し続けておられます。

また、今年に入っては料理・レシピカテゴリの雑誌で売上トップに立つという歴史的快挙も達成されたことも高く評価され、今回の受賞となりました。



西田 真樹（ニシダ マサキ）氏
（Bytedance 株式会社）

2018 年に世界で最もダウンロードされたアプリの 1 つでもあるショートムービーアプリ「TikTok」の日本法人の副社長として、若年層を中心とした層だけでなく、幅広い年齢層のユーザを獲得しました。

そして、テレビなどのマスリーチが届きにくいと言われている層と企業を繋ぐキャンペーンを多く成功させたことが高く評価され、今回の受賞となりました。



【Release】

深津 貴之（フカツ タカユキ）氏 （株式会社ピースオブケイク）

クリエイティブチーム THE GUILD の代表として、あるいはハンドルネーム fladdict 氏として、Flash のデザイナー、iPhone アプリの作者、そして UX デザイナーとして大活躍をされてきました。

そして、昨年 2017 年より、メディアプラットフォーム cakes /note を運営するピースオブケイクの CXO（Chief eXperience Officer）として、ユーザー体験の改善に取り組み、大きな成果をあげられました。また、こういった具体的なプロダクトの改善もさることながら、氏は SNS や各種メディアなどでユーザー体験の重要性とその改善のアプローチをわかりやすい表現で広く発信されており、日本のデジタルメディアにおけるユーザー体験の意識向上に大きな貢献をされていることが高く評価され、今回の受賞となりました。



小和田 みどり（コワダ ミドリ）氏 （ライオン株式会社）

ライオンの宣伝部長として、宣伝部をコミュニケーションデザイン部として再編するなど、ライオンにおけるマーケティングやコミュニケーションのあり方の見直しに取り組まれてきました。

マスメディア中心で、部署毎に縦割りになりがちだった社内の体制を、組織変更と社内の意識改革を通じて、マス・デジタル・リアルを立体的に取り組む体制に改革したことで、様々な成功事例が生み出されるようになっており、ライオンの企業業績にも好影響を与えている点が高く評価され、今回の受賞となりました。



【Release】

Web グランプリとは

Web グランプリとは、デジタル社会の発展に貢献してきた「人」と「サイト」を表彰するために設立されました。

過去 11 回開催し、これまで多くの「Web 人（ウェブジン）」を輩出してきた Web クリエーション・アワード（Web 広告研究会主催）と、過去 6 回開催し日本の企業ウェブサイトの発展に寄与してきた企業ウェブ・グランプリ（企業ウェブ・グランプリ主催）を統合し、2013 年を第 1 回として開催いたしました。今年が第 5 回となります。

インターネットがすみずみまで行き渡った現在、Web サイトは社会にとって欠かすことのできないメディアになりました。特に、ソーシャルネットワークが大きな影響力を持つ昨今では、さまざまな情報のソースとしても Web サイトの重要性がいっそう高まっており、多くの方々がその運営に地道な努力を捧げています。

この「Web グランプリ」は、Web サイトの健全な発展をめざすとともに、【Web 関係者の、Web 関係者による、Web 関係者のための賞】として優れた功績を残した企業および人物を顕彰し、その労と成果を讃えることを趣旨としています。

表彰部門は大きく 2 つ「Web 人部門」と「企業グランプリ部門」に分かれています。「Web 人部門」はこれまでの Web クリエーション・アワードに相当し、Web 社会の発展に貢献してきた「人」に授与されます。「企業グランプリ部門」はこれまでの企業ウェブ・グランプリに相当し、各企業のウェブ担当者同士の研鑽により制作・構築された、見本とすべき「ウェブサイト」に授与されます。

【Web グランプリ Web 人部門選考委員会】

◇Web グランプリプロジェクトリーダー

田中 滋子（NEC、Web 広告研究会 代表幹事）

◇Web グランプリプロジェクト プロジェクトメンバー

今田 素子 2013 年 Web 人賞受賞

（株式会社インフォバーン代表取締役 CEO）

徳力 基彦 2007 年 Web 人賞受賞

（アジャイルメディア・ネットワーク株式会社 取締役 CMO）

長谷川 敦士 2012 年 Web 人賞受賞

（株式会社コンセント 代表取締役社長）

平田 大治 2004 年 Web 人賞受賞

（シックス・アパート株式会社 取締役 CTO）

安田 英久 2010 年 Web 人賞受賞

（株式会社インプレス Web 担当者 Forum 編集部 編集統括）



【Release】

Web 広告研究会について

Web 広告研究会は、1999 年 4 月、(社) 日本広告主協会デジタルメディア委員会内の研究会を母体として発足しました。(注：日本広告主協会は現在、日本アドバタイザーズ協会に名称変更) 業界の枠を超えて Web 広告・マーケティングに取り組む全てのプレイヤーによる研究活動を行う場として、インターネット上の広告展開における様々な課題について、広告主と関連企業・団体（広告会社、メディアレップ、媒体社、調査会社、システム提供会社など）が共通の場で研究活動を行うことにより、インターネット上の広告の健全な発展を促進することを目的としています。

定期的なフォーラム・セミナーの開催のほか、各種広告手法の効果実証実験、企業サイトのプロデュースの研究とその評価、個人情報保護問題への取り組み、ブロードバンド・モバイル環境の研究、生活者のメディア接触変化の研究などの幅広い活動を 11 の委員会と 3 つのプロジェクトで行っております。

構成は以下のとおり

＜委員会＞

- ・コーポレートブランド委員会
- ・モバイル委員会
- ・メディア委員会
- ・ネット・プロモーション委員会
- ・ソーシャルメディア委員会
- ・イノベーション委員会
- ・調査委員会
- ・サイトマネジメント委員会
- ・West Web マーケティング委員会
- ・Big Data 研究委員会
- ・動画活用委員会

＜プロジェクト＞

- ・Web グランプリプロジェクト
- ・PR プロジェクト
- ・Web 人材育成プロジェクト

- 会員社 401 社 (2018 年 10 月 31 日現在)
- 代表幹事 田中 滋子 (N E C)
- 所在地 〒104-0061 東京都中央区銀座 3-10-7 ヒューリック銀座 3 丁目ビル 8 階
- Web <https://www.wab.ne.jp/>